



## 事例 4

# 心臓障害の妹と高齢の両親と暮らす 3 世帯住宅改修

### 本人家族の希望・要望

(日常生活における不便・不自由な点)

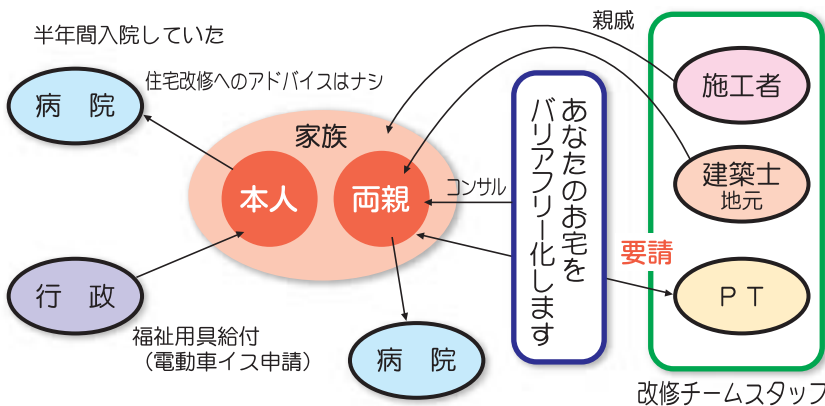
1. 1階に妹の居住スペースを確保したい。
2. 居住スペースにトイレ、洗面台を隣接もしくは内部に設け、自分でできることは自分でできるような工夫をしたい。
3. 家族とのコミュニケーションがとれるよう、車椅子での移動を可能にしたい。
4. 予算の許す範囲で高齢の両親のためにトイレ、洗面、浴室の改修も考えたい。



### これまでの流れ

- 昭和56年 8 月  
心臓機能障害で障害者手帳を取得
- 以後日常酸素を必要とし、寒さが体にこたえる為 2 階の寝室を使用している。
- 毎年室温が 20℃ を下回る期間 (11 月～ 5 月) は入院している。
- 通院時は酸素吸入が必要なため救急車を利用している。
- 酸素ポンベは定期的に 12 日 / 1 回の交換が必要。
- 普段の生活の中で相談等がある場合はかかりつけの病院か、知人の看護婦に連絡をするなど、公的な機関との関係は薄い。

### 住宅改修チーム



家族をまじえて  
改修チームスタッフ打合せ

性別／年齢	女性 46歳	自立の状況 (共通の項目)	●寝返り・起き上がり ・自立
世帯構成	本人、両親、姉、甥夫婦、の6人家族		●衣服の着脱 ・部分的に介助
主介護者	母親、姉		●洗面・歯磨き ・自立 (ただし寝室に準備されて)
住 宅	木造2階建		●トイレ ・ポータブルトイレで自立
病 名	心臓病		●入浴 ・清拭をしてもらう
障害の程度	1種1級：心臓機能障害		●歩行 ・自立 (寝室内での歩行と、ベットから降りたり座ったり)
病 歴	昭和56年8月 ・心臓機能障害		●移動 屋内 ・自立 屋外 ・車椅子で介助移動
介 護 度	・対象外		●移乗 ・一部介助
身体及び介護の状況	・日常生活における介助はおもに母親が行い、家族が協力している。 ・歩行は寝室内部の移動は可能だが、長時間は無理。 ・誰かと長く話をすることはできるし、話したいがその後酸素吸入が必要になる。		●調理・食事 ・調理は不可、食事は自立 (ただし寝室まで準備されて)
			●家事 ・介助

現地調査



既存トイレ  
大便器



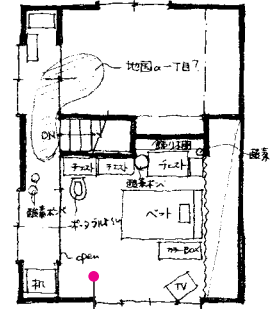
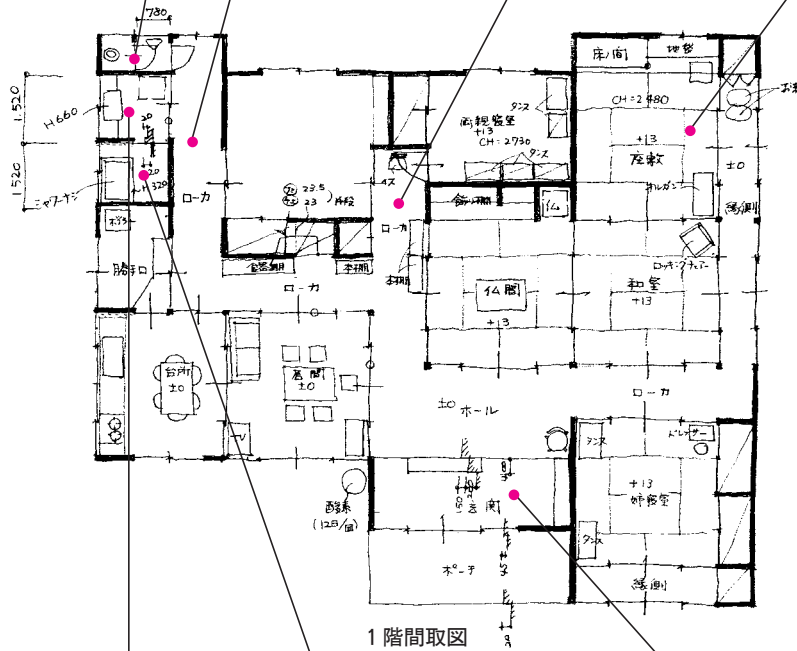
既存トイレ前  
ローカ部分を見る  
右側は両親の部屋になる  
左側はトイレと洗面・  
脱衣・浴室



ローカ  
寝室が完成すれば車イ  
スでここを通り居間へ  
出て来る



座敷  
今回寝室に改修する場所



洗面・脱衣室  
狭く、寒い



既存浴室  
シャワーなし



玄関～ホール  
土間からホール床まで  
かなりの段差あり




本人の2階寝室  
1階へ降りないため今  
はすべて部屋で介助を  
受けている

既存家屋の概要

建築年 昭和42年  
階・建 木造2階建  
工事範囲面積 寝室(ローカ、洗面所、WC含む) 32.77㎡  
所有形態 自己所有

## 住宅改修支援の流れ（スケジュール）

年月日	本人・家族の状況		住宅改修チームの支援内容と動き		
	状況	内容・要望	住宅改修支援チームの動き		内容
平成12年 8月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家が古く、特に冬寒いので、2階を居住スペースにしているが、階段の上がり降りができないため、通院、入院のとき以外は1階に降りてくることはない。</li> <li>○主たる介護者は65歳の母親で最近では母親の状況に不安を感じている。</li> <li>○75歳の父親は、膝の痛みを訴えまた精神的にも母親が娘に付きりて長期入院でいなくなることを不安に感じている様子。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の住宅は築30年程で、広さは十分だが、病気の本人にとっては冬が不安。</li> <li>○1階に本人の居住スペースを確保したい。</li> </ul>	<p>事前現地訪問調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○建築士及び施工業者は決定しており、家族の状況を把握できている様子。(施工業者は親戚)</li> <li>○建築士にはこの事業の趣旨を説明し、今後の進め方を説明。</li> <li>○若い身障者のため、在宅介護支援センターとの関わりは無く、今回は建築士が調整役を受け持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政(県)</li> <li>行政(町)</li> <li>施工業者</li> <li>建築士</li> <li>コンサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体、ADL、介護状況等確認</li> <li>・本人・家族の要望確認</li> <li>・住宅、移動状況の確認</li> </ul>
22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○父親は昨年冬から冬期間はポータブルトイレを使用している。</li> <li>○酸素ボンベ付車椅子があれば、通院時また、家の中の移動も可能になる。役場に申請しようと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○洗面台に関しては車椅子で使用できるタイプを考えたい。</li> <li>○北側でも外に出て風に当たれるスペースも欲しい。</li> </ul>	<p>改修チーム現地訪問調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○改修チーム初顔合わせ。</li> <li>○建築士は予算が限られているので妹の環境を整えることで精一杯と強調。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築士</li> <li>PT</li> <li>施工業者</li> <li>コンサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修プランの打ち合わせ</li> <li>・今後の進め方</li> <li>・介護保険におけるサービス利用との連携について(今回の対象は身障の女性ではあるが、高齢の両親のために説明をする)</li> </ul>
9月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○改修プランについて、何度か話し合いをしてきた。</li> <li>○4～5日前、建築士が模型を作成して説明してくれたが、若干の変更があり、作り直すことになった。</li> <li>○施工者の紹介の建築士に対する報酬は幾ら位か?(一般的な基準も分からないように、模型の作成は高いのではないか?)</li> <li>○突然甥が結婚することになり、家族構成が変わる。家の中の部屋の住み替えはスムーズにいきそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プランを作成するに当たり、PTや行政担当とも話し合っ望ましいプランを作ると言っていたが、現状を見れば、建築士1人で進められている様子。</li> <li>○日常生活用具の給付による車椅子の申請は、行政担当とも話し合い、申請の準備をしている。</li> <li>○両親の介護保険申請を行うにあたり、もしかすれば父親は歩行支援の必要ありと見なされそうなので、今回申請してみる。もし、要介護の判定ができれば、介護保険での改修費が利用できるかもしれない。</li> </ul>	<p>改修プラン作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで施主と建築士の間であったやり取りを報告受ける。(図面なし)</li> <li>・改修プランについて、数回の打ち合わせを行うが、改修チームであるPTへの相談は1回のみとなっている様子。</li> <li>・建築士へは現在の状況を確認し改修チームとしての役割を明確にし、連絡を取り合いながら協力してプランを作成するよう指導。</li> </ul>
			 <p>改修する部屋の模型</p>		
12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プランの打ち合わせは3回目</li> <li>○本人は張り切っている。</li> <li>○父親は膝の痛みを訴え、病院で治療を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○寝室内に冷蔵庫を置く計画にしたが、冷蔵庫から出る音が煩い部屋の外に置くことにする。</li> <li>○トイレの手すりは前面にもたれ掛かれるものと、片側壁に取り付けるのが必要。仕切りはカーテン。</li> <li>○北側テラスに出られるようデッキを設置。</li> </ul>	<p>改修プラン打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○改修チーム参加のプラン説明</li> <li>○車椅子で何処のあたりまで移動するのか?</li> <li>○父親の状態も見たうえで、既存のWC、洗面・脱衣室、浴室の改修も考えるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築士</li> <li>PT</li> <li>施工業者</li> <li>コンサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いをまとめる役割を建築士が行っているため、建築主導で作る側の意見に偏りがちになる。</li> <li>・建築士に対して、福祉用具の情報を得るため、展示場やショールームを見学することを勧める。</li> <li>・PTによる手すりの高さ、位置等のアドバイス。</li> </ul>
10月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○父親が要介護1の認定をうける。</li> </ul>		<p>改修プラン作成、調整中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○最終プラン確認済み。現在見積作成中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再度、予算の範囲内若しくは内容によっては予算増額も踏まえ、両親の身体状況を考えて既存WC、洗面・脱衣室、浴室の改修も話合うよう指導。(介護保険の住宅改修についても説明)</li> </ul>
11月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最終プランについての説明を受ける</li> <li>○着工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○造るに当たり若干の変更あり</li> </ul>	<p>改修チーム最終案作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築士</li> <li>施工業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終プランの説明後、一部出された要望を含め、確認のうえ契約を交わす。</li> </ul>
11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施工中気になる部分についての説明を受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施工部分に対する要望</li> </ul>	<p>工事進捗状況確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修プランの一部変更に関する話し合いの内容の報告。</li> </ul>
21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○父親の身体及び精神状況に微妙な変化あり。妻に対する依存度が高くなり、怒りっぽくなる。(本人の入院時期が近づいているせいかも)</li> <li>○甥夫婦も同居</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○両親の寝室をホールにするための改修を行っているため、両親は車庫2階に仮住まいをしている。</li> </ul>	<p>工事進捗状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○寝室内部の造作施工中</li> <li>○両親の事も考えてのWC等の改修についても、建築士からは予算の限界で無理とのこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築士</li> <li>施工業者</li> <li>コンサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事の進捗状況を確認のうえ家族や本人の感想を聞く。</li> <li>・父親の身体状況の変化に伴う話し合い。</li> </ul>
30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○完成</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>施工業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成写真</li> </ul>
12月12日			<p>完成確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○改修チームの立会いはできなかったが、この後時間をつくり、確認をしてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政(県)</li> <li>コンサル</li> <li>施工業者</li> <li>建築士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成状況確認の上、本人及び家族の感想聞き取り</li> </ul>

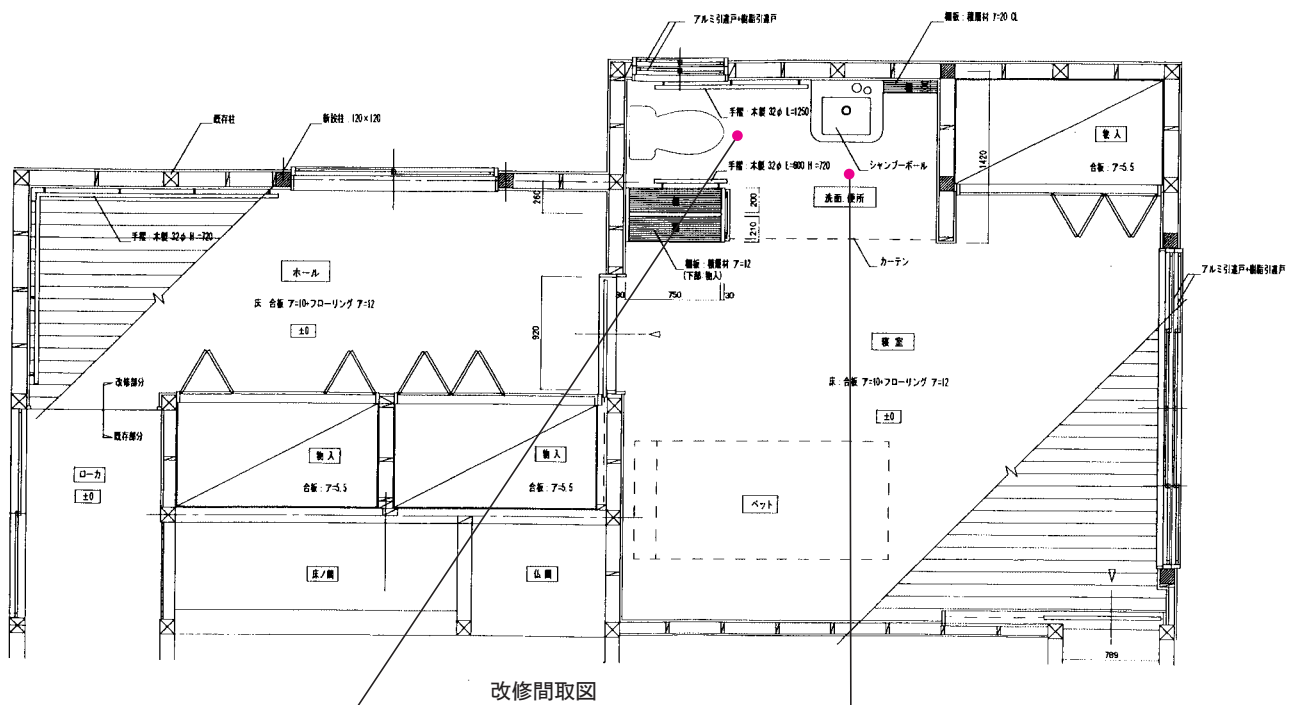
# 改修プラン



寝室全景



完成



トイレ



洗髪台

住宅改修費		福祉用具導入	
総工事費	3,150,000円	○電動車椅子 (町役場申請中)	
自己資金	2,150,000円		
公的資金	1,000,000円 (事業協力金)		
介護保険	利用なし		
その他			



## 改修案の整理（福祉用具含む）

区分	課題（ニーズ）	目 標	改修等内容	改修効果	課 題
寝室	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は寝室が2階のため、階段を上り下りできないこともあり、歯磨き、洗面、清拭全て家族が介助している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖かく機能的なスペースを確保したい。</li> <li>自分でできることは自分でしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2階から1階に移す。</li> <li>トイレ、洗面所を寝室に設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の集まる居間に行くことができる。</li> <li>家族にかかっていた介護負担を軽減できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内の温度環境が安定することで、冬期に長期入院していたものが、自宅での生活期間を長くしていく。</li> </ul>
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のトイレは使用できないため、寝室から直接使用したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄の自立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寝室とトイレの間仕切りは造り付け棚とする。</li> <li>手すりは左右両方に取り付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内の環境が清潔。</li> <li>介護負担を軽減できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後導入される電動車椅子を使用する際の使い勝手を調査する必要がある。</li> </ul>
洗面所	<ul style="list-style-type: none"> <li>寝室に準備してもらって洗面、歯磨き、洗髪をしてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗面、歯磨きは自立したい。洗髪をもう少し楽にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗髪台を設置。</li> <li>必需品の収納できる棚取り付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗髪の介助が楽になる。</li> <li>歯磨き、洗面は自立。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定式の洗髪用イスは、洗面、歯磨きの際はスペースを取りすぎる。</li> </ul>

## 本人・家族の感想

- 家族の希望としては家族みんなが使えるトイレにできたらよかったと思う。
- 両親は、初め車庫の2階がいいということで寝泊まりしていたが、気温もだんだん低くなり、夜中に母屋との行き来が不便になり、母屋の空き部屋での仮住まいになった。
- 父親が要介護1に認定され、週1回のデイサービスを利用し始めたことで、母親も少しゆとりができた。
- 完成した妹の寝室に関してはとても使いやすく、改修前に比べてトイレが部屋にあり水道水で手が洗える。また、洗髪台で気軽に髪が洗えることが非常にうれしく思う。2階と比べて水の音や土の匂い、花の香りがして妹自身も希望をもって喜んでいる。
- 本人自身も喜んでいて、暖かさが満足行けば、病院に入院する期間も少なくなるかもしれない。

## 家族へのアドバイス

- ・本人にとって今回の改修による環境を、いかに住みこなすかにかかる。また、これまで母親に介助されてきた動作が自立できることで、生活の領域を少しずつでも広げられるよう、また家族とのコミュニケーションがとれるよう、心がけていく必要がある。
- ・両親の身体状況、特に父親は身体状況と精神状況が不安定で、冬が近づくと母親と妹が病院に行ってしまうため、不安になることを家族が心配していたようだったが、甥夫婦が同居し始めたので父親は少しは安心しているようである。
- ・母親も膝に痛みを訴えているので、その介護負担を軽減するために、介護サービスを利用する方法を考える。(父親に対しても)
- ・両親の寝室が変わるとこれまで以上に自宅での生活は移動する動線がコンパクトになるので便利にはなるが、身体状況を考慮し、既存トイレ洗面・脱衣室、浴室の機能及び段差に対する改修が必要になってくるであろう。

## 改修後のフォロー

○本人が若いこと、逆に両親は高齢で将来的には両親の生活を支援していく必要があるのである。一家の生活を支えている姉と甥の状況から考えても、できるだけ公的なサービスを利用できる態勢を整える必要がある。

## 改修チームからのコメント

### 役場担当者から

初めての住宅改修で、参加させてもらって勉強になりました。  
車椅子に関しては、できるだけ早く本人の手に届くようやってみます。

### 施工業者から

時期も寒い時期にかかって容易でなかったが、なんとか収まってよかった。途中細かい変更があつて、話し合いをしたが、建築士がいてくれてよかった。

### 建築士から

改修計画プランが予算内に収まってよかった。何度も打ち合わせ、変更で結構時間がかかった。図面も何回も書き直しをして、ようやく完成した。今回の予算では既存のトイレや洗面・脱衣室、浴室の改修は無理でした。

### PTから

彼女にとって、階段というバリアを取り除くことによって、これからは家族と一緒に空間で過ごすことができるようになる。スタートは自分の部屋からトイレ～洗面所の移動から、少しずつ行動範囲を広げられるようになるとすばらしい。これは環境を整えることに加え、家族の精神的な支えによって実現できると思う。自分も何らかの支援をしたいと思っている。